

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8354
担当部課名	保健福祉部	高齢者福祉	課	
事務事業名	生活援助員派遣事業		事業コード	11210

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	いきいきとした高齢社会の創造	13
施策名	第1施策	地域ケアサービスの充実	年度

2 実施根拠及び関連法令等

国 高齢者世帯付住宅（シルバーハウジング等）生活援助員派遣事業実施要綱（大臣官房老人保健福祉部長通知平成12年10月19日付）、市 相模原市生活援助員派遣事業実施要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象（誰、何）	
高齢者世帯付住宅（シルバーハウジング）又は高齢者世帯向け借上型市営住宅（あじさい住宅）に居住する高齢者に対し、自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう、生活援助員を派遣する。		シルバーハウジング及びあじさい住宅に居住する高齢者及び障害者並びに同居の家族	
		対象数	312戸
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
市内で通所介護等を実施する社会福祉法人に援助員派遣を委託。・委託先12法人、派遣先12か所の住宅（派遣人数15人）、委託料 1人年間2,694千円（人件費2,094千円、事務費600千円）、派遣時間 毎週（月）～（金）の午前9時～午後5時（祝・祭日除く）・生活援助員連絡協議会の開催（9回）、生活援助員等研修会への出席（1回）・平成13年4月からの入居者に対して所得に応じ利用者負担金を賦課した。（総額1,119,500円）		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～ 年度
		なし	

4 評価指標

指標名	対象住宅に派遣する人数の達成率		
指標式	各年度の派遣すべき人数/派遣人数×100		
指標設定の意図	達成状況を表す		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度（評価対象年度）		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a 100	b 100	100
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算（予算）額		39,344	40,410	49,839
	人員・時間数		0.28人	0.28人	0.28人
	人件費		2,390	2,390	2,390
	その他経費				
	合計	0	41,734	42,800	52,229
特定財源			8,610	9,609	15,829

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	初年度の目的を達成している。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	高齢者居住の支援に生活援助員は重要な役割を持ち、自立生活に貢献している。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	入居者は生活援助員により、安心して日常生活を営むことができる。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	高齢者の日常生活の自立支援と安全確保を行う観点から、市が実施すべきと考える。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	入居者は安心感を得ている。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	在宅生活での自立と安全確保を行うことにより、高齢者が快適な生活を営むことができる。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 処遇困難な入居者に対する対策を地域で協議する体制を作る等、研究する必要がある。委託先の社会福祉法人だけでは対処できないケースも発生しているため、研修の強化等研究する。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 委託料は安価で実施している。

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	大和市で同様の事業を実施している。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	高齢者の居住支援や安全確保のため、生活援助員を派遣し、自立生活支援の推進を図る。また、生活援助員の業務内容も入居者の状況を踏まえ、検討する必要がある。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--